

統計のマコト世相にゆがめられ

統計の生命は正確で、迅速な処理にある。統計から正確を取り去ってしまったならば算数の教科書にあるような単なる数字になつてしまつて、無味乾燥なものになり信頼して利用することもできなくなるわけだ。しかし現在の日本の不安定な経済状況下にあつては統計なるものの価値を正當に評価し、正しい調査が、正しい申告を得ることがなかなかむづかしいようである。

口では統計の重要性を一応は唱える偉い人でも、いざ新しい企画で、使われるように設計した統計の作成となると、その予算化の面で、僅かな金額であつても簡単にボツにされてしまうことが多いようである。そしていざとなるとこれこれの資料はないかなどと部下を困らせるようなことにならないとも限らない。

いろいろな統計調査の中でも、特に大きな役割を果してくれる調査員になかなか人を得ることがむづかしい時代である。人手不足のせいもあるが、国の調査員手当はなんと1日 350円である。金の問題ばかりではないといふかもしれぬが、実際の社会生活は酷しく喰うことが精一杯の貧しい今日こんな面倒な調査をやつてくれる人には全く有難く頭の下る思いである。

統計の中でも直接生活と結びつく経済統計などはもつともむづかしいものであろう。戦争前から戦後の税金攻勢など、どんぞこの暮らしにゆがめられてしまつた感情が、今なお頭の片隅にこびりついてしまつて統計の申告にさえその門戸を開こうとしないことにも一因があるかも知れない。

日本が早く真に豊になり明るく住みよい社会となつたとき統計の生命は100%に発揮されるのではないか。

ソロバンの音が一家を背負っている

統計といへば、まづソロバンと誰もが一応は結びつける。統計ができあがるまでには利用目的に副つた企画設計、調査、審査、集計などの段階を経て一つの統計となるわけで、集計はその一つの作業であり、ここでソロバンの登場となるわけである。もつとも最近では電子計算機などの優秀なものができて、カードによつてお好みの集計をやつてくれるが、貧乏世帯にはまだまだ縁遠い話で

たいていはソロバンでバチバチとやつているわけである。電気計算機や、手廻計算機も利用されているが、プラスマイナスとなるとやつぱりソロバンにかなわないようである。

バチバチとそちこちでソロバンの冴えた音が、よどんだ事務室にこだまして集計が終つたときの気持はまた格別、最近の若い人にはあまり喜ばれそうにもないが、この道によつて一家の暮らしを支えているわれわれには結構楽しく、有難い存在で、ソロバン様、さまである。

晩酌の美味さ調査が無事に終え

統計の大切なことを認識させられ、調査員になること

を説得され、そして納得させられて調査員を引き受けたものの、実際に農計調査についての何んらの智識もなく、説明会に行つてはみたが平素の野良仕事の疲れが、匪魔となつてあらわれて、説明も夢心地で聞いて来たが、さて実際に調査対象を巡回してみてもその煩しいことの多いのに驚いた次第。麦刈の合い間や、雨の日を選んでの統計の仕事も忙しい体にとつては大へんな労働である。

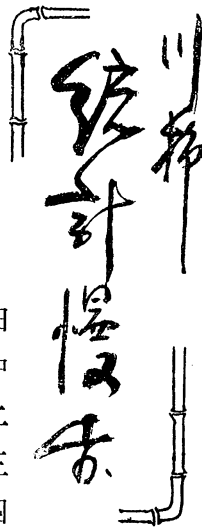
統計調査の仕事は、自計申告が多い現在正しい記入をしてもらうことが問題である。正しいかどうかの判定もこれまたむづかしい。それよりも記入してもらうことが先決だ、ややもすれば統計となるとソツポを向かれてしまうおそれがある。

再三足を運んで受持区域の調査票を洩れなくそろえるのは並たいていの苦勞でない

忍耐力の在り方を痛感させられる。

調査区によつては、僅か30戸ぐらいでも隣りへ行くのにもテクテク山越えて、また一山といつた具合に山あり谷越い転々として存在する部落などにあつては調査票を配つても留守だつたり、記入してなかつたりで足の運動回数が多くなつてしまう。

こんな苦勞の多い仕事だけに調査票が揃つて役場へ提出したときの気持はまことに格別肩の荷が下りたよう、楽しみの晩酌の美味しさはことさらである。晩酌のうまさもさることながらあんなに苦勞して集めた一枚、一枚の調査票に、調査員の汗がにじみこんで、その一枚だけではなんの足しにもならないであろう調査票が、集計の結果部落の有様を、そして村や町に、県や国の姿を表わして、進みゆく施策への指針となる大きな意義を有していることを思うと、何げなくたづさわつてまた調査の重大さと、責任を果し得た満足感が今晚の酒の肴となつてノドに清涼感を与えてくれるのではないかと。



(2)



昭和40年国勢調査調査区設定要綱きまる

昭和40年国勢調査の実査にあたり、調査員の担当区域を明確にして調査の重複脱漏を防ぐこと、各種統計調査の利用に供するという目的で、本年10月1日現在で国勢調査調査区が設定されることになった。今回の国勢調査は、簡易な調査ということもあつて、現在の昭和35年国勢調査調査区の全面的な設定替へではなく、部分的な修正を主としたものであるが、昭和35年国勢調査において設定された人口集中地区の人口が1万以上の市町村および集団的な人口増加が著しい市町村等で統計局長が指定する市町村では新たに調査区を設定し直すことにしておりその他の市町村でも、昭和35年国勢調査調査区に必要な最小限度の修正を加えることになつている。この結果設定される昭和40年国勢調査調査区は約47万6千と見積られているが、このうち約半数の調査区は新たに設定替へになる標様である。なお本年10月1日以後市町村の境界変更その他の理由で修正が必要になれば、調査日の来年10月1日までに修正される。

商業統計の改正

本年7月1日に行なわれる商業統計調査の要綱がきまつた。調査方法等は前回と大差ないが、調査票の様式、調査事項に若干の改正が加えられた。調査事項として新しく追加されたのはセルフサービス方式の採用の有無と営業設備（自動車の車種別保有台数、金銭登録機台数、電話加入本数）の2項目、他方、年間商品販売額の仕入先別割合については、簡素化のため都道府県別記入を廃止したが、県別の必要な都道府県については調査できるよう「都道府県用調査項目」欄が設けられている。

商業動態統計調査の小改正

4半期調査の調査事項に「商店の本支店別」を加えること、これまで調査票で取扱商品については商品グループ名に○をつけさせる方法をとつているが、記入誤りが多いので、取扱商品名を具体的に商店主を書いてもらうこととしたことの2点である。

全国消費実態調査の実施

昭和34年、554市253町村にわたつて全国的規模で実施された全国消費実態調査の第2回目が、本年9月、10月および11月の3か月間全国559市、255町村について行な

われる。農林漁家を除く一般消費者家計の実態を調査して、世帯の所得分布、消費の水準とその構造およびそれらの地域的差異を明らかにすることが目的で、約3万7千の普通世帯と2千の単身世帯が選ばれることになつている。この調査の特徴は、毎月の家計調査では標本数の関係から求めることのできない詳細なクロス・タビュレーションや都道府県別などの地域別結果がえられること主要耐久消費財について所有数量と取得時期が明らかにされることなどであるが、今回はさらに、消費者物価の値上がりに関連して普費物資の流通機構の改善が叫ばれている折りでもあるので、消費者の側から商品の購入先を調査することによつて流通機構の解明に役立てようとするところに新しい試みがある。購入先調査は、購入した商品毎に小売店、百貨店、スーパー、購買部、行商人その他いづれであるか該当する番号に○をつけてもらう方式になつているが、世帯の記入負担を考慮してこの調査は11月1か月間だけ行なわれる。

個人企業経済調査の改正

個人企業経済調査では、主として営業上の収支についての調査を行なつてきたが、個人企業の経営の実態をよりの確に把握するため、本年7月から新たに営業上の流動資産、流動負債および長期借入金に関する事項を加えて財務構成についての調査を実施することになつた。このため調査票丁が新設されたが、営業上の資産および負債に関する事項は、従来の調査事項より一層秘密保持の必要があるため、調査対象である個人企業主が安心して正確に申告できるよう、記入された調査票は封筒に入れて密封した上で調査員に手渡すこととしている。しかし反面、記入された内容についての審査を調査員が行なうことができないため、その正確さについて一抹の不安が残るので、特に記入方法をよく理解させ、記入もれや記入誤りのないよう指導することになつている。

昭和35年国勢調査の結果

このほど全都道府県の報告書を刊行し終わり、全国篇（第3巻）も刊行されたので、そのすべてを完了したことになる。

あとは10%抽出集計結果をのこすのみとなつたがこれも特別報告として近く総理府から刊行される。

労働力調査年報の刊行

労働力調査の結果については、これまで、昭和27年と30年の総合報告書、3回の改算報告書をのぞいては月報だけで、いわゆる年報がなかつたが、今回昭和38年平均を中心に29年までの年平均数字をまとめた報告書が刊行された。今後毎年1回刊行される予定。

商業統計調査事務打合せ会

通産省主管の昭和39年商業統計調査は、7月1日に実施いたしました。これが打合せ会を県下6ヶ処で6月中行いました。

9日・統計会館、10日・牛久町、11日・真壁町、11日・金砂郷村、12日・銚田町、12日・水海道市

賃金指数

賃金の水準をは握する指標として一番よく知られているのが、毎月勤労統計調査の結果から作成される賃金指数である。これは一人平均月間現金給与総額を、基準年次を100として指数化したもので、月々の動きをみるのに便利である。またこれは名目賃金とも呼ばれ、この指数を消費者物価指数で除して、実質的な購買能力を示す実質賃金指数も作ることができる。

地方統計職員業務研修

市町村の統計関係職員の資質の向上と技術の研さんを目的とした昭和39年度の上記について下記のとおり開催されますから是非参加を希望いたします。

記

1 主催 行政管理庁

- 2 後援 茨城県・茨城県統計協会
- 3 受講者範囲 県・市町村統計職員・その他の職員
- 4 日時 第一会場 39年9月8日～11日（4日間）
第二会場 39年9月15日～18日（4日間）
- 5 会場 第一会場 県統計館（水戸南市三ノ丸）
第二会場 “ ”
- 6 科目・講師、申込方法等については各市町村役場あて送付してありますのでご照会下さい。

統計課から

- ◇39年商業統計の各市町村の審査とりまとめが来る8月17日から行なわれる予定。
- ◇38年度工業統計調査は、市町村からの調査票の提出もり、県において集計中であります。8月末日までにはその結果を本省あて提出の予定。
- ◇38年度事業統計調査集計事務も順調に進み、11月末日集計結果を公表できる見込み。
- ◇単県費調査である商品流通調査は、取りまとめも終り現在内容の審査を行なっている。近くこれが完了次第福島総合計算センターに委託集計の予定。この委託集計は、統計の機械化のテストケースとして今回の集計は注目されている。
- ◇毎勤特別労災調査が来る8月1日に県内約400の事業所について行なわれる。これは従業者4人までの零細企業労災保険に対する諸施策の資料を目的としている。



統計図表展へのご案内

蟬しぐれに誘われて、子供達待望の夏休みが訪れます。楽しい夏休ですが、子供達にとっての最大強敵は宿題ではないでしょうか、叱られながらいやいやと登校日の迫った2・3日前に家中の手助を受けてどうにか与えられた数量をまとめる子も多いようです。もちろん長い期間ですから野放しでも困るでしょう。何か後に残るような有効な宿題はないものでしょうか我田引水になるかもしれませんが統計図表の作成などいかがでしょう。子供達が観察したもの、身近にある統計資料を自分で学びながら図表によつて表現するなど、社会の生きた教材によつて画かれた統計図表は、統計教育上からもお奨めいたしたいところです。そして夏休明けの学校展示、さらに県図表展への出品など、最近夏休に子供の宿題として図表作成を与え大いに効果を挙げている学校もあるようです。新しい視野にたつた今年の夏休の宿題として子供達に統計図表を画かせてみてはいかがでしょうか。

図表展出品作品について注意していただきたい点を二三点記してみよう。

図表展の作品を審査する際いつも問題になるのは、この作品が果して子供の手によつて画かれたものかどうかという疑問を持たれる作品が案外多いことです。入選させたいからと大人の手がつい加わつてしまはないでしょ

うか、一本の線、字一字にしても首をかしげるような作品があります。ことに低学年の作品に多いようです。あくまでも子供らしい純真さで、下手でもていねいに画かれたものが尊いわけです。家の子供の作品は入選作品より旨かつたと考える方もありましよう。以上のような事情をお含み願います。

今年の図表展の作品は資料に重点が置かれており、審査基準も50%が資料です。応募課題に忠実な資料の選定を子供達によく指導し、適確に表現いたしましょう。美観の審査基準は20%です。美しい図表というよりも、良い資料による確実な図表を作りたいものです。

応募の規定をよく読んで、用紙の規格や課題に対する正しい資料の選定につとめましょう。折角の苦心の作品がフイになるおそれもあります。

統計図表作成上の基準を守り正しく画かれることが大切です。キマリを無視した勝手な図表が出品されることもあるようです。

統計図表の作成を通じ、統計への関心も深まつて統計的なものの見方、考え方が育成されるのではないかと考えられます。この夏休を有効にふるつての御出品をお待ちしております。

第15回県統計図表コンクール作品募集（抜粋）

統計思想の普及・表現技術の向上とあわせて統計教育の推進をはかることを目的として毎年行つております、県統計図表コンクール作品募集について、今年も下記のような方法で募集いたします。振つて皆様からの応募を期待しております。

記

主催 茨城県・茨城県教育委員会・茨城県統計協会

応募資格 第1部（小学校1年～3年の児童）

第2部（小学校4年～6年の児童）

第3部（中学校の生徒）

第4部（高等学校の生徒）

第5部（一般）

課題 第1部・第2部（共通）

あなた方の学習の結果を表わすもの。

第3部

あなた方の居住の市町村又は学校生活の実情を表わ

すもの。

第4部

茨城県またはあなた方の市町村の実情を表わすもの。

第5部

日本の社会・経済の特徴を表わすもの。

規格 第1部、第2部、第3部の用紙規格は

72.8cm×51.5cm（B₂、2仕上寸法）

第4部以上の用紙規格は103cm×72.8cm

（B₁仕上）

各部とも紙質・色彩その他の材料については自由とする。（単色も可）

送り先 茨城県統計課 水戸市北三の丸

締切 昭和39年9月20日必着

その他詳細について不明の際は、県統計課までお問合せ下さい。

☆近着統計資料案内☆

<不 定 期 刊 行 物>

資 料 名	調査年 刊行年	発 行 者	資 料 名	調査年 刊行年	発 行 者
総 記			工業統計調査結果報告書	37 年	〃
日本統計月報	39年3月	総 理 府 統 計 局	県民所得推計報告書	37 年	栃 木 県
科学技術研究調査報告	38 年	〃 〃	学 校 調 査 速 報	38 年	〃
市区町村別基本数一覽	39 年	〃	静 岡 県 税 務 統 計 書	37 年	静 岡 県
人 口			静 岡 の 事 業 所	38 年	〃
全国年令別人口の推計	38年10月	〃	伸 び ゆ く 富 山	39 年	富 山 県
都道府県人口の推計	〃	〃	富 山 県 統 計 年 鑑	36 年	〃
住民登録人口移動報告年報	37 年	〃	富 山 県 勢 要 覧	39 年	〃
日本人口地図	35年国調	〃	福 島 県 勢 要 覧	38 年	福 島 県
産 業			鉱工業生産指数	38 年	愛 知 県
農家経済価値統計	37 年度	農林省統計調査部	法人企業統計調査報告	37 年	〃
にわとり秋びなに関する統計	38年下期	〃	工業生産実態調査結果報告	38 年	神 奈 川 県
茨城農林水産統計年報	38 年	茨城県統計調査事務所	学校保健調査結果報告	〃	〃
社会・労働			労働力実態調査結果報告	37 年	〃
労働力人口移動実態調査報告	38 年	厚生省人口問題研究所	県民所得推計報告	37 年	〃
労働力調査報告	38 年	総 理 府 統 計 局	学 校 教 育 統 計 書	38 年 度	埼 玉 県
毎勤労災特別調査結果報告	37 年	労働大臣官房労働統計調査部	埼 玉 県 民 所 得 推 計	36 年	〃
労働力調査報告	38 年	総 理 府 統 計 局	埼 玉 県 統 計 年 鑑	11 回	〃
従業・通学地に関する結果速報(愛知)	35 年	〃	大 阪 府 民 所 得	37 年	大 阪 府
海外労働経済月報	39年7月	労働大臣官房労働統計調査部	児 童 生 徒 の 保 健 状 況	38 年	〃
経済・財政			京 都 市 の 工 業	39 年	京 都 市
経 済 情 報	No 56	東 京 都 経 済 局	中 小 企 業 総 合 基 本 調 査 報 告	37 年	東 京 都
小売物価統計調査年報	37 年	総 理 府 統 計 局	東 京 都 生 計 調 査 報 告	39年2月	〃
農家物財統計	37 年	農林省農林経済局統計調査部	工 業 統 計 調 査 結 果	37 年	京 都 府
個人企業経済調査年報	37 年	総 理 府 統 計 局	長 野 県 統 計 書	37 年	長 野 県
昭和38年貯蓄動向調査	38 年	〃	近 年 の 小 売 価 格	38 年	山 形 県
38年産業たばこ生産統計	38 年	日本専売公社水戸地方局	福 井 県 勢 要 覧	39 年 版	福 井 県
農林水産業生産指数	39年6月	農林省農林経済局統計調査部	統 計 か ら み た 市 町 村 の 姿	39 年 版	山 梨 県
基礎調査結果報告	38 年	〃	山 梨 県 統 計 年 鑑	37 年	〃
製材基礎統計	38 年	〃	県 民 所 得 推 計	37 年	岡 山 県
各都道府県	38 年		岡 山 県 統 計 年 報	38 年	〃
本県諸学校の実態	38 年	宮 城 県	消 費 者 物 価 指 数	39年6月	千 葉 県
県 民 所 得	37 年	〃	県 民 所 得	37 年	〃

〃	37年	熊本	熊本	県	消費者動向予測調査結果	39年2月	島根	県
熊本県統計年鑑	37年	〃	〃	〃	林業経営実態調査	37年	〃	〃
大分県統計年鑑	38年	大分	大分	県	茨城県			
物資流通状況調査結果報告	38年	兵庫	兵庫	県	水戸市の小売価格	38年	茨城	県統計課
経済の産業連関分析	39年3月	〃	〃	〃	消防年報	38年	茨城	県消防々災課
県民所得とその推計	37年	〃	〃	〃	漁船統計表	38年	茨城	県水産施設課
賃金構造調査結果報告	38年7月	新潟	新潟	県	茨城県と放射能	38年	茨城	県衛生研究所
統計年鑑	37年	〃	〃	〃	県税等決算額調	38年度	茨城	県税務課
石川県統計年鑑	37年	石川	石川	県	道路現況	38年度	茨城	県道路補修課
県民所得推計	37年	高知	高知	県	交通年鑑	38年	茨城	県警察本部
愛媛県県民所得推計結果	37年	愛媛	愛媛	県	石岡市の農業	39年版	石岡	市
愛媛県統計年鑑	39年	〃	〃	〃	常陸太田	39年版	常陸	太田市
徳島県鉱工業生産指数	38年	徳島	徳島	県	ねきんん茨城	18号	茨城	県国民年金研究会 連合会
国民年金統計年報	38年	〃	〃	〃	水戸市における消費者物価 の動向	38年	茨城	県統計課
高知県の人口	38年度	高知	高知	県	広報便覧	39年	茨城	県秘書公聴課
高知県の工業	37年	〃	〃	〃	晩霜とその予防	〃	茨城	県消防々災課

統計課人事異動

(昭和39年6月1日付)

転入者

(新)	氏	名	(旧)
経済統計係	主事	関 操	地方課
企画係	〃	長田 雅光	原子力課
商工統計係	主事補	川崎 皚 (あきら)	財政課
農林統計係	〃	木名瀬 一恵	総務課

転出者

鹿島開発第二課 (鹿島臨海工業地帯開 発組合派遣)	主幹	入江 英	商工統計係
茨城県水戸都市建設事務所	主事	小野瀬 泰次	経済統計係



人間雑話 (22)

茨城大学教授 塚本勝義

英国人は大人だという。たしかに大人らしい。その大人振りをひとつ紹介したい。

世界最古の伝統を誇る英国の鉄道は、1948年度をもつて、民営から国営に移行した。その切り替えの行われた大晦日の夜、折からの冷雨をついて、三千に近いロンドン市民が停車場につめかけた。そしてGWRのマークをつけた民営最後の列車を、螢の光を歌いながら涙を浮かべて見送った。一夜明けた元旦の朝には、BRのマークをつけた国営第一号列車を歓声あげて送り出した。その三千の市民は、ちよつと前に民営最後の列車に泣いた群集であることはいうまでもない。

これは英国で学校教育を受けた池田潔さんのレポの一節である。胸打つものがある。英国人は伝統を限りなく尊重する。いや、執着するといった方が当つていよう。しかし、その大切な伝統も、もはや使命が完全に終つたことが明らかになれば、涙と共に、きれいな見送り、新しいものを双手を挙げて歓迎する。その切り替えが、明確で、すがすがしい。しみつたれも、けちも、片意地もない。伝統を尊重するから、おつちよこちよいにならない新しい良いものは心から歓迎するから進歩する。うらやましい限りだ。

これに比すると、われわれは日本人は、どうも情ないところが多い。伝統尊重派と新しがり屋が角突き合つてるような場面が到るところにある。伝統を大切にす以上は新しいことはしてはならない——といった幼い考えもあるようだし、進歩派である以上、伝統に拘泥してはならないというゴチャな考えもあるようだ。世の中は日に日に進歩しこいるんだ。だから、現実の人間として生きるには誰だつて伝統と新分野の両方にまたがつて生きなければならないというわかり切つた凡理が未だに理解されこいないようだ。だから伝統派はあまりに古くさく進歩派はシャボン玉のようにも見えてくる。

○ ○ ○ ○

近頃すたれた言葉に「お父さん」と「おかあさん」とがある。そして人気者が「パパ」と「ママ」だ。ところで、この「パバママ派」も、何かの拍子で興奮すると、「このガキめ」とくる。「パバママ」は進歩派だろうが「このガキめ」は何とんでもなく伝統派だ。ひやかしてるのではない。どんな人間だつて「伝統」と「進歩」を踏まえているという例

をあげたのだ。飛び切りの新人だつて親に似ているだろう。似ている以上は伝統を背負い込んでるんだ。つまり新人形成の材料の中に「伝統」があるんだ。百パーセント古い人間もないし、百パーセント新しい人間もない。古くて新しいのが人間だ。よつてわれわれ、良き古きものは尊重し、同時に良き新しきものも尊重しなければならない。これは矛盾ではない。これこそ動かすべからざる「人間の事実」だ。理屈はどのようにでもひねれる。

しかし「事実」は大切にして、そのままを肯定しなければならない。これが人間の事実に即した大人の生き方だ

○ ○ ○ ○

一人の職長が二十人の工員を動かす職場の場合。ある命令を出したとする。すると二十人のうち、五人だけはその命令を快く受容したが、他十五人は、ぶつぶつ言いながら仕方なしといった恰好で動き出す。こんなとき「どうも私の職場の連中にはヘソ曲りが多くて困る。一人前に通るのは、たつた五人だ」と解釈したとしたら軽卒だ。現象面だけ見て割り切つた、でたらめ判断といえる。何となれば、ぶつぶつ言つた理由は簡単でないからだ。なるほど、ヘソ曲りのためにぶつぶつ言つたものも何人かあろう。それは何人かであつて、決して全部ではないはず。

十五人全部が曲りだとしたら、もうそれは曲りでなくて普通の人柄だ。曲つてるというべきは、むしろ文句なしで従つた五人の方だ。十五人の中には、職長の命令の出し方が気に食わんでぶつぶつ言つた者も必ずある。

この連中は職長と気が合わないのだ。曲つてるのでなくて、調子の合わない連中なんだ。人物の良し悪しではない。性格が合わないのだ。ところが、こんな場合に日本の指導者は、すぐに「あの男はねじれている。」「あいつは使いものにならぬ」「あの人物には取柄がない」と決めたがる。

しかし、かかる判断はあまりにも軽卒で浅薄で、そしてでたらめだ。性格の差異と能力の是非とを完全に混乱させた盲断といえる。

相手の動きが鈍いとき、全く動かないとき、指導者としては先ず自己の命令の出し方を自己批判すべきだ。この自己批判を忘れて、あいつは駄目と放言する指導者はたとい背広を着ていても昔の馬鹿大名と同じだ。